

# しかおい 議会だより

第151号

6月定例議会 ②

代表  
質問 1 委員会が問う ⑤

一般  
質問 2 人の議員が問う ⑥

第三者審議会スタートほか ⑦

議会トピックス ⑧



ぼっかん  
麦稈ロールにペイント

撮影者 山口 優子

6月25日、鹿追中学校創作部の皆さんがかわいらしくペイントしました。道の駅うりまくに展示中です。

■2021（令和3）年7月25日発行  
[E-mail] [gikai@town.shikaoi.lg.jp](mailto:gikai@town.shikaoi.lg.jp)  
[URL] <https://www.town.shikaoi.lg.jp/>

■発行者 北海道鹿追町議会

2021年7月号

# さらなる新型コロナウイルス 対策事業を展開

## 令和2年度委託料未払いのため特別職の給与減額

6月定例議会において、議会会議規則改正1件、条例改正11件、専決処分の承認3件、令和2年度予算の繰越2件、令和3年度補正予算8件、名誉町民及び副町長の同意2件等、全34件を原案どおり可決した。  
令和3年度一般会計の予算総額は、1億5549万円を追加補正し、68億2229万円とした。

### 新型コロナウイルス対策

#### 主な条例改正

○国民健康保険条例

コロナ禍の影響で収入が減収した被保険者に対し、国保税を減免する。

また、医療費給付分の所得割は4.9%（+0.6%）、介護給付金課税被保険者分の所得割は0.9%（+0.3%）とした。

○介護保険条例

コロナ禍の影響で収入が減少した被保険者に対し、令和2年度分及び3年度分の保険料を減免する。

#### 主な補正予算

【一般会計】

○活き生き商品券

2540万円  
額面1万4千円の商品券を1万円円で販売する。申し込みの上限は町内世帯4冊まで、町民

○小中学生就学支援

485万円  
町内の小中学生全員に商工会共栄会商品券をひとり1万円分支給する。



9月から発行予定の活き生き商品券（見本）

以外は1世帯2冊まで。申し込み期間は令和3年8月2日から8月16日、購入期間は令和3年9月1日から11月24日、有効期間は令和3年9月1日から令和4年1月16日まで。  
鹿追町商工会及びJA鹿追町が連携し、実行委員会が実施する。国の交付金及び北海道の補助金を活用する。

○子育て世帯生活支援特別給付金

465万円  
19歳未満（障がいのある場合は20歳未満）の子どもを持つ子育て世帯に対し、1人あたり5万円を支給する。

支給要件は、①ひとり親等に より児童扶養手当の支給対象の方、②児童扶養手当の支給限度額を下回る公的年金の支給対象の方、③収入が児童扶養手当の支給対象に減少した方である。  
①は申請不要で、②③は申請が必要となる。

○教育支援センター強化

700万円  
令和3年6月からピュアモ



教育支援センターに改修予定の教職員住宅

ルトクラブハウス内にプレオープンした教育支援センター「ひなたぼっこ」を教職員住宅（東町4丁目4番地2）を改修して専用施設として整備する。  
町内すべての小中高生を対象とし、利用時間は月々金曜日の午前9時～12時30分である。

○家族団らん食う（クー）ポシ券

170万円  
持ち帰り商品購入に対する支援の第4弾として、鹿追町観光協会が国の交付金を活用して実施する。

○観光誘客促進「しかおい版」道民割引事業

250万円  
アウトドア体験事業商品を作成・販売する事業者に対し、2千円以上のアウトドア販売価格にに応じて道民は千～5千円、町民は2千円を上限に割り引く（最低負担額500円）。  
鹿追町観光協会が実施し、実施期間は令和3年6月26日から8月31日までとする。

○町民ホール及び神田日勝記念美術館感染症防止対策

198万円

町民ホール及び神田日勝記念美術館内のトイレの手洗いを、自動水栓化する。



町民ホール 男子トイレの洗面台

【病院会計】

○薬品保冷庫ほか購入

66万円  
薬品保冷庫及び薬用冷蔵ショーケース各1台、自動血圧計1台を購入する。

### その他

#### 主な条例改正

○特別職の職員の給与に関する条例  
令和2年度特定健診未受診者対策事業委託料未払いの責任

○行政手続きにおける特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例

いわゆるマイナンバー法改

#### 補正予算

【一般会計】

○地域づくりセミナー

16万円  
島原半島ジオパーク協議会の 大野希一事務局次長による講演会を、8月26日に開催する（時刻・場所未定）。



ジオパークサポートガイド養成講座 (R3.7.3)

○町税条例

法改正に伴い、電子申請時の扶養親族等申出書の申請にあたり、税務署長の承認を廃止する。また、退職所得申告書の電子申請を可能とする。

○加作構造転換事業補助金

6080万円

豆類等の密植による省力化・増収、種バレイシヨのり病率低下に向けた取り組みに対して補助する。

○外国語版ごみ分別ガイド作成

13万円

中国及びベトナム語版のごみ分別ガイドを作成する。

○小型電子機器・使用済み乾電池・蛍光管処理委託料

122万円

資源ごみとして出される量の増加に伴い、処理委託料を増額する。予算総額は139万円となる。

○然別湖畔園地修繕

160万円



然別湖畔園地

○特定健診未受診者対策委託料  
（令和2年度契約分）342万円  
令和2年度の特定健診未受診者対策事業における、未払い分の委託料及び遅延利息計342万円を追加補正し支払う。  
また、令和2年度中に北海道から交付された補助金は、支出



ストニイブレイン通り  
左側が学童保育所とこども園、右側が鹿追小





### 研修牧場・農場を 設立する考えは

### 営農指導対策協議会で 研究する

## 農業担い手



狩野 正雄 議員

**(質問)** コロナ禍で、地方移住や農業に関心のある人が増えていると報道されている。しかし、関心があっても収入等の不安があり、移住や就農に踏み切れない側面もある。これらの人材に一定の収入を補償

し、農村集落の維持や産業の担い手として受け入れられる研修牧場・農場が各地で設立されている。新得町にあるシントクアユミルク等、北海道内で10カ所以上あり、農林水産省の畜産クラスター事業も活用している。

**(答弁) 喜井町長** 本町では既存農家の規模拡大意欲が強く、農地も不足しており、継承問題は顕在化していない。しかし営農指導対策協議会を中心に、将来に向け担い手対策や育成方法の研究は当然必要と考えている。

**(質問)** 移住者を地域の仲間として受け入れる環境づくりをどう考えるか。

**(答弁) 喜井町長** 農村地域を活性化させる手段の一つとして、地方移住を促進する取り組みが全国各地で行われている。理由は地方在住の若者世代の減少、人口の都市集中、地方自治体の存続危機がある。



酪農家で研修中の産業研修生

町も国の支援制度を活用し、移住・定住の施策を行なっている。山村留学生や産業研修生を、地域の仲間として受け入れる。

今後移住者のさまざまな要望に答えられるよう、関係機関と連携を図り事業を進めたい。

### 農福連携についての 考え方は

### 個別に相談に乗り 支援したい

## 農福連携



山口 優子 議員

**(質問)** 第7期鹿追町総合計画の障がい者福祉で「農福連携等について検討する」とあるが、どのように推進していくか。

その場合、農業振興課及び保健福祉課、地域活動支援センター（もみじ工房）等との連携や、障がい福祉に詳しいコーデイネーターの配置が必要では。

**(答弁) 喜井町長** 障がい者の社会参加を促し、支援の確立が基本的な考え方である。町内の民間事業所で、農業分野での障がい者雇用の実例もある。

保健福祉課の相談員と連携し、ハウスで障がい者を1人雇用している。ハウスの地域再生計画を立て、事業に取り組んできたが、計画は未達成である。

現在「瓜幕バイオガスプラントの水耕栽培ハウスで、農福連携の一環で1人雇用している」との説明であるが、増やす考えは。



水耕栽培ハウス  
トマトは10月中旬頃から出荷予定

**(質問)** 農福連携での事業継続には、障がい者の自立支援として、努力に見合う対価の支払いと、農業の生産性向上との両立を目標にしなければいけない。早急に事業計画策定が必要では。

**(答弁) 喜井町長** 今後、総合的に考え、目標・計画を立てていかなければならない。

### 第6期議会第三者 審議会がスタート

5月12日、鹿追町議会議員定数・報酬及びあり方等審議会（第三者審議会）委員に対し、吉田稔議長から委嘱状の交付を行なった。

今回で6期目となる審議会委員に、浅野登氏、上嶋さと子氏、高野恵氏、武田邦宏氏、林正信氏を再任した。前期では新型コロナウイルス感染症の影響で活動できなかったことから、全員が再任された。任期は令和5年3月31日まで。



第三者審議会 (R3.5.12)



芽室町議会の本会議場 (R3.5.12)



試用中のタブレットPC

### 芽室町役場及び 音更町役場を視察

5月12日、議会運営委員会が新築された芽室町役場と、改修された音更町役場の議会議場を視察した。

エレベーター、難聴者用ヘッドフォン、車イス対応トイレが設置され、耳や足の不自由な方も傍聴できるよう配慮されている。

今後鹿追町においても、多くの方が議会に来て傍聴できるよう、設備等の検討をしていかなければならない。

### タブレットPC 試用開始

国が推進するGIGAスクール構想により小学校に新しいタブレットパソコンが導入され、それまで使っていたものを議会で試用することになった。

当面は、9月定例議会に向けた行政資料をタブレットパソコンに入れ説明を受けることを目標に、勉強会等を通じて操作に慣れる段階であるが、ペーパーレス化に向けた取り組みが一歩進んだともいえる。

**写真のよ集**

「しかおい議会だより第152号」（令和3年10月25日発行）以降の表紙に掲載する写真を募集します。ご応募をお待ちしています。

※詳細及び応募用紙のダウンロードは、鹿追町議会ホームページ (<https://www.town.shikaoui.lg.jp/gikai/>) をご覧ください。

**入場無料**

まちなか会議 議員と

**カフェ**

で **ひとつこと**

令和3年 **8月24日(火) 11:00**より

※先着 **8人限定の予約制**とします。

※当日は検温及びマスクを着用してご来場ください。

※国・北海道の緊急事態宣言により、延期または中止する場合があります。

狩野 正雄 議員、加納 茂 議員が **平成館** でお待ちしています。





留学センター2年目の  
たかがき みちこ  
高柿 美智子 さん



然別川での川遊び体験



身近な自然を楽しむ  
留学センター 川遊び体験

6月13日に、瓜幕自然体験留学センターの皆で然別川へ行きました。

この日は暑い日で、とても楽しく川遊びをしました。ニジマスもたくさん泳いでいて、生徒は「捕って食べたかった」と語っていました。

東京よりクラスの人数が少なく、先生が皆を見るとき全員を見てくれてすごくいいと思いました。

楽しい乗馬クラブにも入り、瓜幕へ来て馬に乗れるようになって本当にうれいす。

瓜幕の冬も楽しみます。グラウンドにできる丘リンクでのスケートがすごいです。

5年生なので、今年は500mと1000mも滑ります。がんばりたいです。スキー場も近いので楽しみます。

2年目の自然体験留学をたくさん楽しみます。

(取材・インタビュー 台蔵征一)



学童保育所 所長  
おの まさかず  
小野 正一 さん



新学童保育所 認定こども園に隣接

放課後の子どもたちを支援  
新学童保育所

学童保育所の新しい施設が完成しました。とても大切に有意義な施設です。

その所長に最もふさわしい方が就任されました。今年3月に鹿追小学校校長を退職された小野正一さんです。

新所長は「とても子供が好きで、自分も学童保育にその意義を十分に感じておりますのでがんばりたい」と語っています。

4月より新設された学童保育所の所長として勤務しています。小学1〜4年生の51人の子どもたちが通っています。

最近、子どもたちも学童での生活ルールが身につけてきたところです。子どもたちと接していると若い頃の教諭時代を思い出します。子どもたちの健やかな成長のために貢献したいと考えています。

(取材・インタビュー 川染洋)

編集後記

今号もまた記事に窮した。コロナ感染拡大の猛威の危機真中であって人々の活動や議会活動もその範囲は狭まれた。

国にあっては、政府また専門とする方々も混迷を極めている。「迷夢よ醒めよ」とコロナ騒動の一刻も早い終息を願い、次号には記事に窮することなく豊かな広報紙にしたい。

編集の基本的な割り付けをしている事務局職員には記事不足により大変ご苦勞をかけていることに感謝したい。

議会広報部会 部会員 川染 洋

議会広報広聴常任委員会  
広報部会

- 部会長 台蔵 征一
- 副部会長 清水 浩徳
- 部会員 安藤 幹夫
- 川染 洋
- 山口 優子